事	業番号	08	3 0	4 1	16				事業	改善シ	ート(24 :	年度実施	事業分)]予算要求	口予算	案	■点	検		
車	業名		太帝性叩次ム却フ始の事業典											部局	農連) 飲部					
ŀ	未 11	畜産特別資金利子補給事業費												担当	課・3	室 園芸畜		産課			
〈参	考>		プロジェクト											課	E-ma	ail <u>en</u>	<u>chik</u>	u@pre	ef.nagar	no.lg <u>.jp</u>	
	55か年	F	第の	総合	的展	II 1-3 夢に挑戦する農業															
計画	4	ДE)K*/	//// 디	нуде	2	2 自信と誇りを持てる信州農畜産物の生産 実施期							実施期間		S61		~			
1 -	事業の)概要																			
目	指す姿	る	本県の畜産生産基盤を維持・確保するため、畜産農家が借入金の償還困難となって借換えた畜産特別資金の利子補給を一部補給することにより、借入農家の金利負担を軽減し経営の安定化を図る。															部補給す			
	現状	る。	畜産経営は、短期運転資金から長期施設資金まで多額の資金が必要であり、また肉専肥育牛では資金の回収に21カ月と時間がかかる。さらに素畜費、飼料費等の資材費や生産価格の変動が大きいことから、他の農業と比べリスクが大きく、現状は飼料高騰、生産価格安の影響を大きく受けている。																		
旧北阳上			■法令等義務 □内部管理 □県でなければ実施不可 【左記の説明、根拠法											去令领	等】						
	が関与 る理由	□以间、中門行(も大旭門形たが、宗関すり必女は行 田座付加入以及立											事業実施!	要綱、長	野県	大家畜	特別支持	爰資金等融			
			□その他() 資利于補給金交付要綱 (H24)																		
		1	成身	具目 相	票(H:	24)															
			○畜	特資	金借	受者	におけ	る畜	産経営	の継続(ヨ	見行借受者	26戸の経営	を継続させ	る。)							
																			())(
		② 事業内容														H2	甲	(単位:千円) H25			
成長	果目標∙		項目						実施方法 H24実施				内容			(当初) (決					
事業内容										H4~2	9年度の資	全供受供数	全借受件数41件(借受者26戸)に と補給			1,470				·	
			利子補給事業						直接		利子の一部							1,168		1,780	
												合計			1,470		1,168		1,780		
												-	H 87			1,110			1,100	1,100	
	区		分(単位:千円)				年度	234	年度	24年度	25年度				1	果目標の					
	予		前年度繰越 当初予算 補正予算			1,110		844	1,470	1,780		項目 借受者の経		現況 (見込)	目標		2 4式果 達成状治		H25 日標		
	算—							044	1,470	1,700						,	以木	建风机			
₩	額	合計(A)			1,110		844		1,470	1,780		営継続者		26戸	26戸	-	24戸	未達成	24戸		
業		国庫	国庫支出金				-,														
⊐	AO	県																			
ス	財源		その他				185		844	1 470	1.700										
	決		以財源 9種(925 704		498	1,470 1,168	· ·						-				
۲	概算	1	算 額(B) 職員数(人)				0.25		0.25	0.25	0.25										
	人件費	. —			(C))	2,079		2,065	2,065	2,065						1		1		
	概算事	業費	(B(A	()+C))		2,783		2,563	3,535	3,845										
目標に対 する成果 の状況 経営を中断された2戸については、当該資金を活用し経営再建中に、長野県北部地震による畜舎の倒壊や食肉価格の低迷などの影響 悪化したことによるものであり、やむを得ないものと考える。										ど響を受け	けて、経営が										

□ 事業を実施しない □ 事業を見直して実施 ■ 事業を現行どおり実施

今後、事業 をどのよう | 日本のにはいい | 日本のには本制度の活用が必要であたいか。 | 日本のには本制度の活用が必要であたいか。 | 日本のには本制度の活用が必要であるため、継続して事業に取組む。 | 日本のには本制度の活用が必要であるため、継続して事業に取組む。 | 日本のには本制度の活用が必要であるため、継続して事業に取組む。 | 日本のには本制度の活用が必要であるため、継続して事業に取組む。 | 日本のには本制度の活用が必要であるため、継続して事業に取組む。 | 日本のには本制度の活用が必要であるため、